

博士学位論文 審査結果の要旨

Abstract of review result

芝浦工業大学大学院 理工学研究科 博士（後期）課程

Doctoral thesis defense committee

博士学位論文審査委員会

Main examiner	
主査	野田 和彦
Examiner	
審査委員	弓野 健太郎
Examiner	
審査委員	松村 一成
Examiner	
審査委員	伊代田 岳史
Examiner	
審査委員	片山 英樹
Examiner	
審査委員	

氏 名 Applicant's Name	包 駿卿
論文題目 Thesis title	ジンクリッチペイントによる鋼材防食に関する研究
〔論文審査の要旨〕 Abstract of review 2023 年 11 月 14 日の予備審査通過（合格）後、2024 年 2 月 19 日に最終審査が公聴会形式、学内及びオンライン実施の実施方法により行われた。学内の審査委員 4 名と学外審査委員 1 名により審査が行われた。審査委員の先生がたはいずれも（5 名）学内対面によりご参加、ご審査いただいた。本論文は、実用化されている表面処理方法に対し、事故防止、寿命予測や実用範囲拡大を目的に、防食原理や反応性に関する詳細を電気化学測定から検討したもので、これらは、評価方法の着眼を含め、これまでに十分に検討されていない課題を解決した新規性の高い内容である。審査内容については、亜鉛粒子の役割と樹脂成分の効果に関する質疑や助言に加え、腐食生成物の効果やインピーダンス解析の学術的質疑、実験データの詳細、亜鉛粒子量と反応性、博士論文の章立てと論文タイトルにまでご指摘・質疑・議論・助言いただきその回答について評価いただいた。また、予備審査でのご指摘を論文内や発表において改善できている点、予備審査内容への直接的な回答を示したことも評価いただいた。筆頭論文 2 報、他の筆頭相当の論文 1 報の内容についても認めていただき、国際会議、口頭発表なども含めた新規性、公開などの業績も充分であると評価いただいた。その結果、充分博士論文の内容として価値あるものであること、今後の研究発展にも寄与できることをお認めいただき、5 名の審査委員全員一致で合格の評価をいただいた。 なお、今回の最終審査では、学内対面およびオンライン併用による公聴会を実施したが、公聴会形式における適切な質疑により各審査委員にはご了解いただくとともに、審査の公平性をお認めいただいた。	